

図書館だより

らいぶらりんく

2024年度 第1号 沖学園図書館

図書館と
きみを
つなぐよ!



入学・進級おめでとう。

みなさんと図書館をつなげたい[★]という願いをいっぱいこめて
図書館だより **らいぶらりんく** をお届けします。1年間よろしくね!

図書館は学校の中で特別な場所です。

**「学年・組に関係なく、誰もが、用がなくても
自由に出入りしてOKな場所」**だからです。

学校生活を送っていると、ちょっと今、行くところがないとか
ちょっと心を落ち着けたいな、っていうときもあったりするよね。

図書館が、そんなときの「心の居場所」になれたらいいな[★]
と思っています。

というわけで、読書や勉強をする人だけでなく、ちょっと一息
つきたいなっていう人も大歓迎。ぜひ足を運んでくださいね。

Welcome to YOUR library! あなたの図書館です♪

図書館の約束

1. 飲食物を持ち込まない
2. 上からモノを落とさない
3. 上の階とおしゃべりしない
4. パソコン利用の決まりを守る
5. 学校のきまりは図書館でも守る

みんなが気持ちよく過ごせる居心地のいい
図書館を一緒につくっていきましょう。

Instagram もやっています!

おすすめ本・イベント情報・館内
の様子などを図書委員会の
リーダーさんと
一緒に随時
お知らせして
いきますよー
よかったら
フォローしてね♪



https://www.instagram.com/okigakuen_library/

新・図書議長&副議長より ごあいさつがわりのおすすめ本

議長 2年 中野花晴

みんなにもっと図書館に来てもらいたいで
活字が苦手な人でも楽しんでもらえるような
イベントを企画するなど、がんばります!

イラストを描くのが好きです♪



『よるのばけもの』(住野よる/著 双葉社)

中学3年の「安達」はいつからか夜になると「バケモノ」(目が8・足が6・尾が4!)に変身するようになってしまいました。ある夜、忘れ物を取りにいった教室で「何、してんの?」「あっちーくんだよね?」と話しかけられます。「バケモノ」の姿なのに安達だと気づいたのは、クラスでいじめられている「矢野さつき」でした。

「夜になるとバケモノになる安達」と「いじめられっ子の矢野さつき」が秘密の夜休みを通して距離を縮めていく過程がとてモワワワクしてならなかったです。

ただ、それは夜だけの話で……矢野がクラスメイトからいじめられているにも関わらず、周りに合わせる安達もしんどいだろうな、とか考えるととても辛い、自分に置き換えてみたら、妄想では矢野を助ける行動をできたとしても、現実では場に流されてしまう辛い結果しか見えない気がして、それがとても恐ろしいと感じました。

空気を読まず独特な言動をするように見える矢野が本当は何を思っていたのか。「夜」と「昼」で真逆の安達は どうなってしまうのか。

主人公が同年代ということもあり共感したり、感情を動かされたり、自分だったら?と考へてしまうポイントがいっぱいでした。『君の隣臓をたべたい』の著者なので読みやすいですよ。



副議長としての責任感をしっかり
持って、リーダーチームのメンバーと
一緒にがんばっていきます。
よろしくおねがいします!

副議長 2年 大塚 優男



『アンネの日記』(アンネ・フランク/著 深町理子/訳 文藝春秋)

第二次大戦中、ユダヤ人であるアンネがナチスから逃れ、隠れ家で過ごし
ながら書いた日記です。

以前、英語の授業で出てきて、自分が歴史好きということもあり、読んでみました。

隠れ家での日常や迫害される恐怖が伝わってくるし、良い面も悪い面も含めて
人間の本质が見えてくるようなアンネの文章に感動しました。



載せられなかった本もあるので見に来てね。



『現代用語の基礎知識 2024』
自由国民社

『HSP プームの功罪を問う』
飯村周平:著 岩波書店

『私たちと戦後責任』
宇田川幸大:著 岩波書店

『紫式部と藤原道長』
倉本一宏:著 講談社

『平安時代の絵事典 見て楽しむ』
成美堂出版編集部:編著 成美堂出版

『検証ナチスは「良いこと」もしたのか?』
小野寺拓也:著 田野大輔:著 岩波書店

『一度読んだら絶対に忘れない地理の教科書
公立高校教師 YouTuber が書いた』
山崎圭一:著 SBクリエイティブ

『図解でわかる時事重要テーマ100 2024-2025』
日経 HR

『「情報自由法」で社会を変える!
情報開示最強ツールの実践ガイド』
ジョン・ミッチェル:著 阿部小涼:訳 岩波書店

『世界の片隅で日本国憲法をたぐりよせる』
大門正克:著 岩波書店

『本当は「ごめん」って言いたかった』
内田裕士:著 すばる舎

『10代のうちに考えておきたいジェンダーの話』
堀内かある:著 岩波書店

『ろうの両親から生まれたばかりが聴こえる世界と
聴こえない世界を行き来して考えた30のこと』
五十嵐大:著 幻冬舎

『難民の?がわかる本』
木下理仁:著 山中正大:イラスト 太郎次郎社エディタス

『学校に染まるな!』
あおたとしまさ:著 筑摩書房



『人生に効く寓話 グリム、イソップ、日本昔話』
池上彰:著 佐藤優:著 中央公論新社

『一度読んだら絶対に忘れない物理の教科書』
池末翔太:著 SBクリエイティブ

『一度読んだら絶対に忘れない化学の教科書』
左巻健男:著 SBクリエイティブ

『10代の君に伝えたい 学校で悩むぼくが見つけた
未来を切りひらく思考』
山崎聡一郎:著 朝日新聞出版

『図解・気象学入門 原理からわかる
雲・雨・気温・風・天気図』
古川武彦:著 大木勇人:著 講談社

『ウソみたいな人体の話を大学の先生に解説してもらいました』
中尾篤典:著 毛内弘:著 秀和システム

『歯科衛生士になる! 絶対、就職に困らない
いま必要とされる職業』
歯科衛生士問題研究会:著 日労研

『猫語の教科書』
ポール・ギャリコ:著 灰島かり:訳 筑摩書房

『培養肉とは何か?』
竹内昌治:著 日比野愛子:著 岩波書店

『世界』
junaida:作 福音館書店

『HUG』
junaida:著 サンリド

『イラストレーション 2024』
平泉康児:編 翔泳社

『ぼくはあと何回、満月を見るだろう』
坂本龍一:著 新潮社

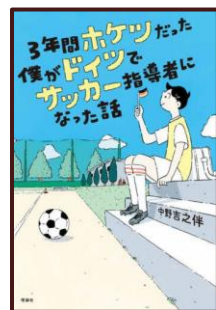
『3年間ホケツだった僕がドイツでサッカー指導者になった話』
中野吉之伴:著 早川世詩男:絵 理論社

『一度読んだら絶対に忘れない国語の教科書』
辻孝宗:著 SBクリエイティブ

『言語沼 言語オタクが友だちに700日間
語り続けて引きずり込んだ』
堀元見:著 水野太貴:著 あさ出版

『朝日キーワード 2025』
朝日新聞出版:編 朝日新聞出版

『マンガでわかる! 読解力を10日で上げる方法』
善方威:著 春原弥生:マンガ あさ出版



『一度読んだら絶対に忘れない英会話の教科書』
牧野智一:著 SBクリエイティブ

『『ジョジョの奇妙な冒険』で英語をたっぷり学ぶ!!』
荒木飛呂彦:原作 マーティ・フリードマン:監修 集英社

『紫式部女房たちの宮廷生活』
福家俊幸:著 平凡社

『アリアドネの声』
井上真偽:著 幻冬舎

『宙わたる教室』
伊与原新:著 文藝春秋

『椿ノ恋文』
小川糸:著 幻冬舎

『紫式部と源氏物語の謎』
源氏物語研究会:編 プレジデント社

『Q』
呉勝浩:著 小学館

『一線の湖』
砥上裕将:著 講談社

『今夜は、鍋。』
角田光代ほか:著 新潮社

『成瀬は信じた道をいく』
宮島未奈:著 新潮社

『ファラオの密室』
白川尚史:著 宝島社

『レーンデ国物語 月と太陽』
多崎礼:著 講談社

『放課後ミステリクラブ 2 雪のミステリーサークル事件』
知念実希人:著 ライツ社

『木挽町のあだ討ち』
永井紗耶子:著 新潮社

『ブラック・ショーマンと覚醒する女たち』
東野圭吾:著 光文社

『私労働小説 ザ・シフト・ジョブ』
フレイティみかこ:著 KADOKAWA

『シャロック・ホームズの凱旋』
森見登美彦:著 中央公論新社

『ないものわたりの君に光の花束を』
汐見夏衛:著 KADOKAWA

『二百十番館によこそ』
加納朋子:著 文藝春秋



『心霊探偵八雲 Short Stories』
神永学:著 角川書店

『吸血鬼と愉快な仲間たち 1~3』
木原音瀬:著 集英社

『魔王学院の不適合者 10 下~14 下』
秋:著 KADOKAWA

『マスカレード・コンフィデンス
詐欺師は少女と仮面仕掛けの旅をする』
滝浪酒利:著 KADOKAWA

『彼女が天使でなくなる日』
寺地はるな:著 角川春樹事務所

『探偵はもう、死んでいる。8~10』
二語十:著 KADOKAWA

『鬼人幻燈抄 1~10』
中西トオ:著 双葉社

『わたしを変えたありえない出会い』
櫻いいよほか:著 スターツ出版

『きのうのオレンジ』
藤岡陽子:著 集英社

『パーフェクト・ブルー』
宮部みゆき:著 東京創元社

『千年の黙 異本源氏物語』
森谷明子:著 東京創元社

『犬から聞いた素敵な話』
山口花:著 小学館

『幽霊なんて怖くない BIS ビブリアバトル部 2』
山本弘:著 東京創元社

『新編 本日もちとをかし!! 枕草子』
小迎裕美子:著 清少納言:著 KADOKAWA

『新編 人生はあはれなり...紫式部日記』
小迎裕美子:著 紫式部:著 KADOKAWA

『紫式部は今日も憂鬱
令和言葉で読む『紫式部日記』』
堀越英美:著 紫式部:著 山本淳子:監修 扶桑社

『受験生は謎解きに向かない』
ホリー・ジャクソン:著 服部京子:訳 東京創元社

『ポピーのためにできること』
ジャンス・ハレット:著 山田蘭:訳 集英社

『I Can Be Anything』
ヨシタケリンスケ:作 Chronicle Books Llc

